

気象学会関西支部, 第4回例会講演要旨集, 15-18.  
 森 征洋, 1985: 地衡風と地表風との対応について—多  
 度津・岡山の場合—, 天気, 32, 523-529.  
 森 征洋, 木崎晴子, 1987: 岡山平野における海風の型  
 と気圧場との関係, 香川大学教育学部研究報告, 11,  
 37, 53-62.  
 根山芳晴, 1982: 瀬戸内の海陸風について, 天気, 29,  
 653-668.

佐橋 謙, 1973: 瀬戸内海の二種類の海風について, 気  
 象技術ノート, 14, 16-20.  
 佐橋 謙, 1978: 岡山周辺海陸風について, 天気, 25,  
 357-363.  
 佐橋 謙, 1988: 瀬戸内東部の局地循環, 気象研究ノー  
 ト, 163, 89-105.

### 日本気象学会1995年度秋季大会の報告

日本気象学会1995年度秋季大会は, ホテル・アウィー  
 ナ大阪を会場として1995年10月16日(月)~18日(水)  
 に行われた。参加者数は686名(一般会員392名, 学生  
 会員142名, 他に招待者・大会関係者等)であった。

2日目午後には, 山本・正野論文賞(小池 真・森本  
 真司会員), 堀内基金奨励賞(竹内謙介会員)の授与式  
 および奨励金(小澤英司・河合宏一・中吉一行・西岡  
 佐喜子会員)の贈呈式と, 受賞記念講演会が行われた  
 (森本会員は南極越冬中のため帰国後に講演して頂く  
 予定)。これに引き続き, 大会シンポジウム「大気レー  
 ダーが開く新しい気象」が行われた。なお懇親会の参  
 加者数は219名であった。

一般講演の発表申込件数は325件で, 過去4回とほぼ  
 同じであった。その内訳は第1種講演が250件, 第2種  
 講演が39件, ポスターが36件であった。第2種講演と

して申し込まれた講演のうち, 予稿が第2種の要件を  
 満たさない等の理由でプログラム編成時に第1種に変  
 更したものが4件(前回は15件)あった。今回はポス  
 ター発表の件数が多かったため, 初めてポスター・セッ  
 ションを2回に分け, 第1日夕刻と第3日午前に行わ  
 れた。なおスペシャル・セッションは応募がなく, 行  
 われなかった。

会期中およびその翌日には, 個別のテーマによる研  
 究会が計3件開かれた。また第1日の夕刻には気象集  
 誌の印刷社の契約事項に関する懇談会が開かれた。

最後に, 今大会事務局として大会準備・運営にご尽  
 力頂いた大阪管区気象台・京都大学を始め関西支部の  
 皆様に深く感謝の意を表します。

1995年12月 講演企画委員会